

## 地 域 再 生 計 画

### 1 地域再生計画の名称

“奇跡の劇場”が世界を変える！アート・ヴィレッジ「とうおん」創生事業

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

東温市

### 3 地域再生計画の区域

東温市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市は、総合戦略策定時に実施した市民アンケートの結果、約7割の市民が「住み続けたい」と回答し、東洋経済新報社の「住みよさランキング」では愛媛1位となるなど、居住地として高いポテンシャルを有しているものの、インターネットによる認知度調査では、四国内で約4割、中国地方で約8割、大阪府で約9割が「名前も知らない」と回答しており、認知度の低さが大きな課題となっている。

この状況を打開するため、年間2万人以上の県外客（全体では概ね7～8万人）を集客し、市内外に演劇文化を広げながら社会貢献活動を展開する「坊っちゃん劇場」を市のランドマークとして磨き上げ、発信することで、新たな「ひと」の流れと「しごと」の創生に繋げていくことを目指している。

このための具体的展開として、東温版アート・ヴィレッジ構想を策定し、舞台芸術の映像化、各種演劇体験プログラムの企画及び実施、演劇人材の育成などに官民協働で取り組むことを通じて、舞台芸術の聖地・アート・ヴィレッジ「とうおん」として認知度の向上を図り、観光客及び移住者の増加、演劇の総合産業化を目指すものである。

#### 【数値目標】

| KPI                                     | 事業開始前<br>（現時点） | 平成28年度<br>（1年目） | 平成29年度<br>（2年目） | 平成30年度<br>（3年目） |
|-----------------------------------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 演劇関連産業への従事や演劇技術の修得、研鑽等を目的とした移住者数（家族を含む） | 12人            | 3人              | 20人             | 20人             |

|                                              |          |         |         |         |
|----------------------------------------------|----------|---------|---------|---------|
| レスパシティ(坊っちゃん劇場が所在する商業施設)の入場者数(現状値:過去3年間の平均値) | 343 万人   | 0.5 万人  | 2万人     | 2万人     |
| 坊っちゃん劇場観劇者数(現状値:過去3年間の平均値)                   | 72,919 人 | 1,000 人 | 2,000 人 | 3,000 人 |

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

坊っちゃん劇場が立地する商業施設敷地を中心としつつ、豊かなロケーションを有する中山間地域の山、川、棚田など、市内全域を舞台として、アート・ヴィレッジ「とうおん」を構想する。

この構想を具体化する事業推進主体として、東温市移住定住促進協議会内に「アート・ヴィレッジ推進部会」を設置し、演劇の総合産業化に向けた8K映像技術の調査研究及びテストマーケティング、中山間地域等の運営組織と連携した出張演劇のメニュー化、全国的な演劇祭の企画・開催、多世代が受講できるミュージカルアカデミーの開講、演劇体験・アートセラピーなどストレス社会に対応する新規サービスの提供、アーティスト人材の移住促進に向けたアトリエの開設、演劇人材育成に向けた俳優養成所の開設、多様な芸術交流が可能となるミュージカル交流サロンの開設など、演劇を中心とした多種多様な新規事業に取り組む。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

#### ①事業主体

東温市

#### ②事業の名称

“奇跡の劇場”が世界を変える！アート・ヴィレッジ「とうおん」創生事業

#### ③事業の内容

坊っちゃん劇場が立地する商業施設敷地を中心としつつ、豊かなロケーションを有する中山間地域の山、川、棚田など、市内全域を舞台として、「創造発信の拠点」、「国際的な文化・観光交流の拠点」、「人づくり・まちづくりの活動拠点」の三つをコンセプトとするアート・ヴィレッジ「とうおん」を構想し、交付対象事業として以下の事業に取り組むこととしている。

(1) アート・ヴィレッジ（文化芸術村）先進事例調査と東温版アート・ヴィレッジ構想の策定・PR

・先進事例調査・想定調査

アート・ヴィレッジとして先進的な取り組みをしている事例について、施設規模や経済波及効果、入込客の推移、課題等について調査研究を行い、これを基に東温版アート・ヴィレッジ構想を策定する。

・アート・ヴィレッジ構想のプロモーション

演劇の総合産業化に向けた中核事業として取組む8K映像技術について、舞台芸術がさかんでインバウンドが期待できる韓国で舞台作品の8K撮影を行い、韓国、東京、坊っちゃん劇場の3箇所で試写会を開催し、モニタリング調査を行う。本事業では、モニタリング調査の支援及びアート・ヴィレッジ構想のプロモーション活動を実施する。

(2) 劇場施設の拡充や演劇祭、演劇体験を通じた文化交流の拠点化

・多目的稽古場の新設と地域景観を活用した演劇文化の発信

坊っちゃん劇場に隣接する商業施設（クールスモール）の空きスペースを多目的稽古場としてリニューアルし、アマチュア劇団や各種パフォーマンス団体のほか、全国の舞台関係者の合宿やワークショップ、演劇以外のジャンルの公演など、多用途に使用できるよう整備する。また、中山間地域等の豊かなロケーションの中で演劇が楽しめる出張演劇をメニュー化する。本事業では施設リニューアルに関する周知PRの支援や、中山間地域等の運営組織と連携して出張演劇のメニュー化の支援を行う。

・全国的な演劇祭の開催とミュージカルアカデミーの開講

中四国大学演劇祭の新規企画や全国高校演劇大会の誘致など、全国規模の演劇大会を開催するとともに、子どもから大人まで多世代に対応するミュージカルアカデミーを開講する。本事業では、演劇祭等の開催に係る周知PRの支援を行う。

・演劇体験・アートセラピーの提供

舞台づくりのバックステージツアーの実施や演劇関係合宿への劇場開放、舞台用メイク・衣装を着用し舞台上でライトを浴びる「舞台俳優なりきり体験」などの体験メニューを提供する。また、演劇手法を用いた企業研修や就職活動支援、ストレス社会に対応するアートセラピーを実施する。本事業では演劇体験やアートセラピーの企画・実施支援及び周知PRの支援を行う。

(3) アーティスト人材の移住促進と演劇人材を「育てる」まちへの転換

・アーティストの創造活動の場としての移住先の確保

豊かな自然環境とストレスフリーなロケーションを有する本市にアーティスト人材を受け入れるため、地域の空き家等を活用し、演劇関係者向けのシェアハウスや、アーティスト同士の交流の場として利用できるアトリエなどを開設する。

・俳優養成所の開設

現在、坊っちゃん劇場では演劇を目指す人材が集中する東京でオーディションを行い、役者を誘致しているが、今後は演劇を目指す若者が東温市で演劇の基礎を学べる俳優養成所を設置する。本事業では俳優養成所の開設に必要な経費の支援を行う。

・多様な芸術活動を通じた移住予備軍の発掘

平成 28 年度に実施している市民ミュージカルへの参加者は、市外、県外者が全体の 5 割を超えており、本市の演劇環境は高い希少価値と独自性を有していることが窺える。このポテンシャルを活かし、多様な芸術活動を通じた交流により将来の移住に繋げるため、ミュージカル交流サロンを開設する。本事業では、交流サロンの開設や体験型ワークショップの開催を支援する。

(4) 世界に先駆ける 8 K 技術の導入と舞台芸術の映像化、世界 8 K 映像演祭の開催

・8 K 舞台芸術映像シアターの常設

生の舞台に迫る臨場感で国内外の作品が楽しめる、8 K スーパーハイヴィジョンの常設シアターを設置する。本事業では 8 K の魅力や特性を分かりやすく周知するための P R 支援を行うとともに、観光企画等の開発を行う。

・世界 8 K 映像演劇祭の開催

世界的に例の少ない映像演劇祭を開催し、世界の演劇映像を東温市に集結することで、国内外から観光客の誘致を図る。本事業では映像演劇祭開催に関するトップセールスや開催に係る経費の支援、マスメディア展開などの周知 P R 支援を行う。

・舞台作品の 8 K 映像化編集室（ラボ）設置

8 K の特性を最大限に活かし、舞台演劇、パフォーマンス、ダンス、郷土芸能の数々を映像化することによって、『感動』を記録としてだけでなく、その場にいるように再現できる新しい価値として提供する。本事業では 8 K による映像作品の試写会など周知 P R に係る経費について支援を行う。

#### ④事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

- ・本事業では舞台芸術の裾野を市内全域に広げながら演劇の産業化を図っていくため、移住定住促進協議会内に「アート・ヴィレッジ推進部会」を設立する。推進部会は、当初、企業等からの寄付金や補助金で業務を開始するが、多目的稽古場の運営手数料や演劇に関わる各種交流拡大プロジェクトの参加料を主な財源として、3～5年以内に自立を図っていく。

##### 【官民協働】

- ・既存の施設や確立された集客能力を持つ「坊っちゃん劇場」と、民営組織である移住定住促進協議会内「アート・ヴィレッジ推進部会」が連携し、アーティスト人材の移住・定住や各種演劇体験・大会誘致等を実施し、市が初期的な資金支援や調整を行うことで、将来的に自立した取組みとしての確立を目指す。

##### 【政策間連携】

- ・演劇は「総合舞台芸術」を称されるように、多くの人材が創り上げるものであり、環境を整えれば最小限の投資で多くの「ひと」と「しごと」を呼び込むことができるため、地方創生の実現に複合的に寄与する。

##### 【地域間連携】

- ・本事業は東温市単独で実施するが、旧2町の都市・農村連携や、演劇文化に興味を示す香川県さぬき市との連携を通じて、交流機会の増大、地域経済循環及び市全体の認知度向上を図るものである。

##### 【その他の先導性】

###### （将来性）

演劇を志す幅広い世代に対し、本市で演劇に携わりながら生活できる環境を提供することで、新たな移住サイクルを形成する。

###### （地域性）

多くの県外客が訪れる坊っちゃん劇場から車で約10分で中山間地域の豊かなロケーションを味わえる立地環境を活かした取組みである。

###### （直接性）

新規プロジェクトに巻き込む形でスキルと志を持った移住者を受け入れることによって、地域活性化に向けた直接的な効果が見込める。

###### （新規性）

言わば「劇場版地域おこし協力隊」が、東温市の豊かな環境の下で創造性を高めながら、世界に先駆けた映像産業づくりに携わることで、市全域に演劇の裾野を広げることができ、坊っちゃん劇場や関連企業にも様々な刺激が与えられる点において新規性が高い。

⑤重要業績評価指標（K P I）及び目標年月

| KPI                                                 | 事業開始前<br>（現時点） | 平成 28 年度<br>（1 年目） | 平成 29 年度<br>（2 年目） | 平成 30 年度<br>（3 年目） |
|-----------------------------------------------------|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 演劇関連産業への従事や演劇技術の修得、研鑽等を目的とした移住者数(家族を含む)             | 12 人           | 3 人                | 20 人               | 20 人               |
| レスパスシティ(坊っちゃん劇場が所在する商業施設)の入場者数<br>(現状値:過去 3 年間の平均値) | 343 万人         | 0.5 万人             | 2 万人               | 2 万人               |
| 坊っちゃん劇場観劇者数(現状値:<br>過去 3 年間の平均値)                    | 72,919 人       | 1,000 人            | 2,000 人            | 3,000 人            |

⑥評価の方法、時期及び体制

毎年度末時点の K P I の達成状況を、総務部企画財政課が取りまとめて、「東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」を構成する外部有識者や、議会の特別委員会の関与を得ながら、P D C A サイクルによる検証を行い、必要に応じて東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略や、今後の事業内容に反映させる。検証を行う会議は全部公開とするほか、市 H P でも検証結果を公表する。

⑦交付対象事業に要する経費

法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

・総事業費 100,000 千円

⑧事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成 31 年 3 月 31 日（3 力年度）

⑨その他必要な事項

特になし

5－3 その他の事業

5－3－1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5－3－2 支援措置によらない独自の取組

（1）多目的稽古場、ミュージカル交流サロン及び 8 K シアターの開設

- ・事業主体：レスパスコーポレーション株式会社  
坊っちゃん劇場（株式会社ジョイ・アート）
- ・事業期間：平成 28 年度～平成 30 年度
- ・事業概要：多目的稽古場やミュージカル交流サロン、8 Kシアター、俳優養成所などのアート・ヴィレッジ構想の中核を担う基盤施設については、坊っちゃん劇場及び同関連会社のレスパスコーポレーションの出資により整備する。

## （２）地域おこし協力隊導入事業

- ・事業主体：東温市
- ・事業期間：平成 28 年度～平成 30 年度
- ・事業概要：首都圏で演劇を志す人材を地域おこし協力隊として誘致し、本事業で目指すアート・ヴィレッジ「とうおん」の実現に向けて、劇場と各種団体との調整、演劇をきっかけとした移住者に対するサポート、演劇体験をはじめとする各種体験メニュー開発等の協力活動を行いながら、任期後は演劇関連産業に携わるプロ人材として東温市に定住・定着することを目指す。

## （３）稼ぐ地域が人を呼ぶ！移住地としての『とうおん』ブランド創生事業

- ・事業主体：東温市
- ・事業期間：平成 28 年度（平成 27 年度 3 月補正予算繰越）
- ・事業概要：人口減少が進む本市の中山間地域において、地域運営組織の設立を支援し、住民が生きがいを持って暮らし続けられる地域づくりを進めることで、市全体の魅力向上を目指す。
- ・補助制度：地方創生加速化交付金

## 6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 31 年 3 月 31 日

## 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

### 7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、「東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」において結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。

#### 目標 1

演劇関連産業への従事や演劇技術の修得、研鑽等を目的とした移住者数については、総務部企画財政課が毎年度末時点で坊っちゃん劇場及びアート・ヴィレッジ推

進部会、市の移住相談窓口の集計を取りまとめて把握する。

## 目標 2

レスパスシティ（坊っちゃん劇場が所在する商業施設）の入場者数については、総務部企画財政課が毎年度末時点で、レスパスシティが施設内各店舗のレジ通過者数から推計した年間入場者数を聴き取り把握する。

## 目標 3

坊っちゃん劇場観劇者数については、総務部企画財政課が毎年度末時点で、坊っちゃん劇場が集計する年間観劇者数を聴き取り把握する。

### 7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

| KPI                                             | 事業開始前<br>（現時点） | 平成 28 年度<br>（1 年目） | 平成 29 年度<br>（2 年目） | 平成 30 年度<br>（3 年目） |
|-------------------------------------------------|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 演劇関連産業への従事や演劇技術の修得、研鑽等を目的とした移住者数（家族を含む）         | 12 人           | 3 人                | 20 人               | 20 人               |
| レスパスシティ（坊っちゃん劇場が所在する商業施設）の入場者数（現状値：過去 3 年間の平均値） | 343 万人         | 0.5 万人             | 2 万人               | 2 万人               |
| 坊っちゃん劇場観劇者数（現状値：過去 3 年間の平均値）                    | 72,919 人       | 1,000 人            | 2,000 人            | 3,000 人            |

### 7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

毎年度、「東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」による検証後、その結果を市HPで公表する。